

国立大学法人信州大学監事に求める人材像

令和 4年 4月20日
監事候補者選考会議決定

国立大学法人の監事は、法令等に則って法人の業務を監査する。監査を通じて、会計業務の健全性のみならず、教育研究や社会貢献の状況や法人の長の選考方法、法人内部の意思決定システムをはじめとした法人の業務運営が適切かつ効果的・効率的に機能しているかについて監査する。また、会計監査人による監査の相当性判断にとどまらず、国立大学法人のガバナンスの一翼を担うものである。

このことから、本法人の監事として業務を円滑に遂行していくには、次のような要件を満たす人材が望ましい。

1. 教育、研究、社会貢献、診療その他国立大学における業務の特性や大学の社会的使命を理解し、建設的な対話と提言を行うことができる人
2. 学長、理事及び教職員等との意思疎通を図り、監査環境の整備及び情報の収集に積極的に努め、本法人の業務運営の実施状況の把握と業務運営上の課題を認識できる人
3. 監査に係る意見を形成するに当たり、大学の使命をよく理解し、合理的な判断を行うよう努めることができる人
4. 職務を遂行するに当たり、常に公正不偏の立場と独立性を保持することができる人
5. 民間企業、独立行政法人、国又は地方公共団体、病院等の組織において管理職経験があり、財務状況や決算状況の適切な監査を実施するため、財務や決算に関する専門的知見を有し、組織の監査を、公正かつ適切に遂行できる能力を有している人